

佐賀県立佐賀商業高等学校 定時制課程

第4号
虎の門がより



令和7(2025)年7月31日発行

〒840-0804

佐賀市神野東4丁目12番40号

☎0952-30-8571 Fax0952-34-1042

<https://www.education.saga.jp/hp/sagashougyoukoukou-p/>

給食時間が10分間拡大になりました。

～生徒の声が学校を動かした取組～

7月1日より、本校の給食時間がこれまでの25分から35分へと10分拡大されました。これまでの給食時間は、手洗いや配膳にかかる時間を含めると、実際に食事に使える時間が20分に満たないこともあり、

「歯磨きの時間が取れない」「おかわりをしたくても時間が足りない」といった声が多く聞かれていました。

こうした状況を受けて、生徒会では全校生徒を対象にアンケートを実施。その結果をもとに、始業時間を10分早めることで給食時間を拡大するという改善案をまとめ、職員会議へ提案しました。

職員会議での協議を経て、まずは1週間の試行期間が設けられました。その結果、大きな支障がないことが確認され、7月より正式に実施される運びとなりました。今回の取組は、生徒の主体的な問題意識と行動が学校の制度を変えた好例です。

今後も、「自分たちの学校をより良くしたい」という気持ちを大切に、自分たちで環境を整える力を養ってほしいと願っています。



○「命の大切さを学ぶ」～性教育講演会を実施しました～

7月3日（木）、内野産婦人科より助産師の先生をお招きし、性教育講演会を実施しました。

講演では、妊娠体験ジャケットを用いた妊婦体験や、妊娠・出産がいかに奇跡の積み重ねであるかについての話に加え、避妊・人工妊娠中絶・LGBTQ+などの現代的なテーマについても、わかりやすく丁寧に教えていただきました。

参加した生徒たちは、命の尊さや性に関する正しい知識の大切さ、そして他者への理解と思いやりについて深く学ぶことができました。以下、生徒の感想の一部をご紹介します。

「何があっても命を無駄にしてはいけないこと、生きる勇気をもらったことが心に残りました。出産の話を聞いて、記憶はなくても自分もその瞬間を乗り越えて生まれてきたんだと思うと、力が湧いてきました。」

「妊娠中の赤ちゃんの写真がとても神秘的で驚きました。命の誕生はまさに奇跡だと感じると同時に、私をここまで育ててくれた母への感謝の気持ちがより大きくなりました。」

「自分が生まれた2006年に、佐賀県が10代の人工妊娠中絶でワースト1位だったという話を聞いて、とても驚きました。性について正しい知識を持つことの大切さを実感しました。」

「私の友人にもLGBTQの子がいます。どう接してよいか分からないままでしたが、講演を聞いて、次はもっと自然に声をかけたり話を聞いたりできそうです。」

「今日の話を通して、改めて命の重みを感じました。誤った情報に流されず、正しい知識をもとに自分で考えることが大切だと強く感じました。」

生徒たちがこの講演を通じて学んだことは、これからの人生において、他者との関わり方や自分自身の在り方を考えるうえで大きな支えとなるでしょう。今後も、自他を大切にする心を育んでいきたいと思います。

○学年を超えて盛り上がる～夜のレクリエーション大会開催～

7月11日（金）、生徒会主催による**「夜のレクリエーション大会」**が開催されました。前半はL教室にて「四字熟語かるた大会」、後半は体育館で「ドッジボール大会」が行われ、学年を超えて交流を深める楽しいひとときとなりました。

「四字熟語かるた大会」では、読み手が四字熟語の意味や使い方を読み上げ、それに合う札を素早く探して取るという形式で競技が進められました。6名ほどの小グループに分かれ、笑顔と熱気あふれる中で真剣勝負が繰り広げられました。



後半の「ドッジボール大会」では、1試合5分間、計4試合が行われました。運動が得意な生徒もそうでない生徒も、チームの中で声を掛け合い、励まし合いながら全力でプレーする姿が印象的でした。

大会の最後には表彰式が行われ、入賞チームには賞状とお菓子の詰め合わせが贈られました。

生徒会を中心に企画・運営されたこのイベントは、仲間と楽しさを共有し、協力する喜びを感じられる貴重な機会となりました。

